

令和4年度 第1回湖西市水道事業経営審議会 議事要旨

1. 日 時：令和4年8月10日（水）13：30～15：30

2. 場 所：湖西市役所 3階委員会室

3. 出席者

委員長)

愛知大学地域政策学部 教授： 菊地 裕幸 氏

委員)

豊橋技術科学大学大学院工学研究科建築・都市システム学系 教授： 井上 隆信 氏

一般社団法人地方公会計研究センター 理事： 玉澤 一雄 氏

税理士法人ヤマダ会計 代表社員： 山田 義之 氏

湖西市自治会連合会 会長： 板倉 福男 氏

事務局)

湖西市環境部水道課

株式会社東京設計事務所

4. 概 要

1) 市長挨拶

2) 委員委嘱式

3) 委員紹介

4) 会長及び副会長選出

5) 諮問書の交付

6) 議事要旨

事務局から配布資料についての説明が行われた後、検討方針に対する意見交換を行った。主な内容は下記のとおりである。次回以降、委員から頂いた意見を踏まえ、検討を進めていくこととなった。最後に、事務局から次回開催について12月を予定していることを連絡し、閉会した。

委員名については敬称略とする。

①資料に対する質疑応答

1. 本審議会の目的、今回の審議事項及びスケジュールについて

特にご意見はない。

2. 湖西市水道事業経営の状況、全国の水道料金の傾向について

- 委員 資料 4 P24 で、2036 年度に赤字が発生し、2049 年度に内部留保資金が不足する試算となっているがまだ先である。今改定が必要な理由として、世代間の公平性を保つという言葉が使われているが、どのように世代間の公平性を保つのか説明がない。この資料では、今のところ料金を上げなくていいように受け取られるのではないか。世代間の公平性を保つために今料金改定が必要となる理由を説明した方が市民の皆様理解していただきやすいのではないかと。
- 事務局 詳細なわかりやすい説明が必要と考えている。今の段階から水道料金改定を検討する必要があるということを今後示したい。
- 委員 資料 4 P10 では企業債残高が減っており、現状黒字であるため、今の資料では料金改定への理解が得られないかと思う。資料 4 P11 について、令和 3 年度以降の水道施設更新の実施状況及び費用はどこに示されているか。
- 事務局 資料 4 P25 に料金改定が遅れた場合、給水人口が減り利用者一人当たりの負担が大きくなるということ示しており、わかりやすい表現に変更する。現在新水道ビジョンに基づいて事業を進めており、令和 2 年度までは管路更新事業費は 2 億円前後であったが、令和 3 年度から 4 億円強に増やしており、吉美配水場の更新も実施している。次回議会にて承認された令和 3 年度の決算数値を示す予定である。
- 委員 総事業費が今後どれくらいかかるのか、それに対して今の料金体系はどうなのか数値があれば理解しやすい。また、資料 4 P21・23 の効果について、費用対効果 (B/C) を示した方がいいのではないかと。資料 4 P25 に一人当たりの負担が軽減されると記載されているが、1 年あたりの額が小さくなくても、先に値上げをすると一人当たりのトータルの負担額は変わらないのではないかと。
- 事務局 直近の経営状況等は次回以降示す。企業債を十数年ぶりに借りているなどを報告する。資料 4 P21・23 については B/C を示したいが、試行段階のためすぐに示すことは難しく、本審議会中には間に合わないかもしれないが今後評価する。資料 4 P25 は長期シミュレーションをした中で、収入の不足額に対して将来給水人口が減るため一人当たり負担額が上がることを記載しており、わかりやすい表現に変更する。
- 委員 資料 4 P26 では 10m³ 当たり料金、資料 4 P28 では 20m³ 当たり料金が示されているため統一した方がいいのではないかと。
- 事務局 仰るとおりであり今回は公表資料より整理していることによる。第 2 回審議会では近隣市町との比較などより詳細な数値を示す予定である。
- 委員 事業実施による効率化は金額で示して欲しい。令和 5 年度予算と令和 4 年度の差額により示せるのではないかと。資料 4 P28 家庭用料金の推移では、湖西市は 30 年近く改定していないが改定していない理由の説明を付け足した方がいいのではないかと。資料 4 P8 で県水受水の費用が多いが、今後どう扱うか確認して欲しい。ま

た、資産維持費の考え方をどうするか確認して欲しい。全体的な将来見通しを次回以降に資料提供して欲しい。

事務局 新水道ビジョンにより事業方針を転換している。これまでは純利益から投資額を設定しており、施設の老朽化が進んできた。そのような中で経営の見直しを行っており、第2回審議会では令和3年度の実績や将来シミュレーションを示したい。

3. 今後の水道料金等のあり方について

委員 資料4 P34～36のグラフに縦軸目盛りを付けて欲しい。時間帯別料金体系の検討は有効な取り組みだと考えるが、事業者様（飲食店）はかなり負担になるのではないか、意見を伺いたい。

事務局 実証実験の実施方針は精査中となっており今後報告する。湖西市は約8～9割が一般家庭利用（口径13mm・20mm）のため、一般家庭を中心に考えている。一方で、大口様では受水槽を設置している場合もあり、今後シミュレーションしながら負担割合を検討したい。

委員 実証実験は一般家庭が多い地区を予定されているが、業態別のデータ検証を行って欲しい。事業者様への配慮も必要である。

委員 資料4 P13 口径別給水量・給水収益では、大口事業者は水量が少ないが料金をたくさん支払っており、資料4 P30の料金体系をみても大口口径の料金設定が高いことが読み取れる。専用水道や井戸水を使用している大口事業者が水道を使用して貰えば料金が回収でき、市民の負担が減る可能性がある。逓増性は当初の設定であるが、今後給水量が減る中では大口事業者に使用して貰えるような施策が必要ではないか。また、次回以降、シミュレーションをする際には、市税からの繰り入れは行わない、世代間の公平性を保つなど、料金改定検討に向けた基本的な考えを示した方が市民から理解を得られるのではないか。

事務局 次回シミュレーションを示す際には条件設定を整理したい。シミュレーションを踏まえ、どの程度料金が足りないか、改定の是非について資料を整理する。

委員 水道料金のあり方について、時間帯別料金を検討するということであるが、それは急務であり市民にとって必要であるのか、水道事業経営が厳しいため水道利用促進に向けて行うのかがわからない。

事務局 料金改定が必要となる理由として一番大きいのは施設更新であり、具体的な数値は次回説明する。基本料金を定額制とすると使用量による料金差がなくなり、事業としては一定収入確保が見込め安定するが、少量使用者の負担が大きくなる。その中で需要特性を踏まえ、選択制をとるのは市民の負担軽減へ繋がると考えて

いる。

委員 料金を上げる必要性は理解した。選択制の理由として、時代に即していないと表現があったが、水道料金を複雑にする必要があるのか。今までどおりシンプルでよいのではないかと考える。

委員 資料 4 P28 の家庭用料金で湖西市の水道料金は全国平均より安く、ここ 30 年間値上げをしていない状況であるが、今値上げが必要な理由がわからない。近隣と比べて高い印象もあり、湖西市の水道料金が安いのか疑問である。この先現状程度で推移するのなら今急に料金を上げなくていいのではないか。

事務局 全国では水源が乏しい地域もあるため全国平均と比較すると湖西市は安い。一方で、次回以降示すが静岡県は水が豊富な地域であり、近隣と比較すると湖西市は上位である。今後将来シミュレーションを示し改定の是非を議論したい。

委員 資料 4 P10 をみると企業債残高が減っているが、50 年程前に企業債を借りて整備した施設の更新が必要であり、物価上昇等により費用が高くなっているということもあり料金改定検討が必要である。一方で、水道料金は独立採算制であるが、生活困窮者への支援は別で考えて税金負担が必要ではないか。

委員 湖西市は一般会計からの繰り入れをしていない。市全体の負担を考えることが重要ではないか。施設更新費用がかかり、企業債を借りれば一時的に賄えるが、返済が厳しくなり、不足分を急激に値上げする形になる。今後詳細な検討が必要である。

事務局 福祉に対する考えをどうするか基本方針で提示する。福祉的な点も水道料金で賄うべきか示したい。シミュレーションは令和 3 年度実績を基準に今後の見直しを行い、過去の経営と比較して、メリット・デメリットを整理したい。

②次回検討会に向けた要望等

委員 市民の皆様になぜ今料金を上げないといけないかご納得いただくようわかりやすい資料で説明しないと、30 年先まで赤字にならないならこのままでよいのではないかなど色々な意見が出てくるのではないか。説明をしっかりといただきたい。

委員 市民に負担を強いる内容となるため、2 回目以降的確なシミュレーションや方向性を資料で示していただきたい。

委員 大きなテーマであると実感している。湖西市市民の生活に関わる料金変更を検討することとなるため、問題の先を読んでスムーズに検討を進められるよう力になりたい。

委員 他の委員の仰ったとおりであり、難しい問題を市民にわかって貰えるような説明をしないとイケないのではないか。

委員 貴重な意見をたくさんいただき有意義な会になった。今後中長期的にみると、施設更新等含めて持続可能な水道事業とするために財政的に厳しいことは明らかである。なぜ今なのかを含めて市民の皆様に対して明確な説明を行う資料づくりが求められる。また、市民や事業者の負担に直結する問題であり、料金を変更する場合は必ず影響を受ける人が出るため責任を感じる。説明責任を果たして責任を全うできるよう会長として努める。

以 上